

日・露小辞典

ベズグラヤ アンナ

JAPANESE-RUSSIAN DICTIONARY

BEZOUGLAIA ANNA

The dictionary plays a great part in studying foreign languages. However, I think many people have problems in using rather large dictionaries. They fall into trouble to find the word which is really needed. Most of the dictionaries do not have many examples and they do not show the way of reading the Kanji characters in the examples. That makes studying harder.

My teacher Mr. KONDO Isao and I decided to write a Japanese-Russian dictionary for Russians who newly began to study Japanese. The dictionary includes about 2000 words. Every word is presented in different situational examples. We tried to choose daily words, which were used often in the Siberia district of Russia and Japan.

It is easier to memorize a word when you can use it in a dialog. So the examples in the dictionary have been written for the purpose of being used in a dialog.

The dictionary will help the users to revise their grammar as well. We tried to use all the elementary grammar of Japanese in the examples.

The dictionary aims to provide appropriate explanations and examples of the usage that is considered to be basic vocabulary of the Japanese language. It has been compiled to help Russian students who are studying Japanese, to achieve better results in their studies of the language. A beginner level student will have no problem using this

dictionary.

The dictionary aims not only to reinforce the user's knowledge of the words already learned, but also to expand the student's awareness of their usage.

前書き

言葉の現状を表している辞書を作ることはとても難しいことである。何億という人の使っているそれぞれの言葉は、特に語彙の面でとても早く変化・伸展している。

だから、今の言葉の辞書を編纂するとき、辞書のための語彙と表現の選定は難しい問題になっている。辞書を買った人たちはだれでもその辞書にその語の語彙が全部含まれていてほしいと思うだろう。でも専門家はこれは実際には不可能であると分かっている。その言葉の語彙は何十万語にもものぼる。その数はまた常に増えつづけている。ところが大きな辞典でも十万語から二十万語しか含めない。

いくら詳細な辞書であっても大きさに制限がある。また、国語とその国の方言、国語と口語の間の境の可動性などがある。それともう一つの大きな問題になっているのは何万語にもものぼる専門用語である。

でも外国語を勉強し始める時に、こんなに部厚い辞典は本当に必要なのか、勉強に本当に役に立つのかと考えたほうがいいかもしれない。

初学なら、だれでも教科書といっしょにその言葉の辞書も買うだろう。本屋には辞書がたくさん並べてあるが、その人の学習範囲だけに焦点をしばった辞書はあまり目に入らない。しっかり勉強するつもりで大きい辞書を買って、その辞書を使いこなせないで困っている人は多いのではないだろうか。

そこで一緒に研究している近藤功先生とわたしは日本語を勉強し始め

たロシア人学習者のために日・露小辞典を作ることにした。この研究は1998年4月から現在にかけて行われている。2001年3月に終わる予定である。

1. 今ある日露・露日辞典

現在ある日露・露日辞典の編纂者は日本人で、同胞のためのものなので、語彙のレベルが日本人向きでありすぎる。そこで、わたしたちは日本語をロシア語に訳するとき、初級レベルの語彙を選ぶように心がけた。

ロシア人が編纂した辞書は、コンラド監修の“大日・露辞典”(1970年)を含めて現代の日本語には合わなくなっている。新しく出版したラーヴレンテヴ監修の“日・露辞典”(1996年)もあまり役に立たなかった。なぜかと言えば、日本語のロシア語訳としていくつかのロシア語の言葉を列挙しているだけで、その言葉の使い方について何も説明がなかったからだ。その上、かなりの言葉が不適切も今の日本語では使われていないからだ。

その結果わたしたちは自分の日本語の知識に基づいて研究を進めることにした。

2. 採用した語彙の範囲

語彙は日本語能力試験(4級と3級)の語彙リストと、いくつかの初級レベルの教科書の語彙リストから難易度使用場面を考えながら、わたしたちは選び出した。学習者が外国語で話すとき、一般に通用する言葉、その地方でよく使われる語彙も必要だということを考慮して、シベリアと極東に住んでいる人たちがよく使う語彙や表現も集めた。

例えば、非常に変わりやすく、予想できない天候を持つシベリア東

北地方に住む人たちは、天気を説明する語彙をよく使う。例えば、吹雪、雪あらし、降雪、霜など。防寒服、植物や動物界についても同じことが言える。みな地方によって違ってくる。外国語をマスターするには日常生活で、食べたり、見たり、着たり、何かをしたりすることを外国語で言ってみるのが一番の近道ではないだろうか。

3. 語彙選定の方針

この日・露小辞典は現在の日本語で一番よく使われている語彙が含まれている。そしてそれらは話し言葉として頻度が高い。だから、日本語の日常会話にとっても役に立つ。

わたしたちは最近の日本語の変化を重視した。できるだけ死語や今あまり使われてない言葉や日常会話から姿を消した語彙は入れないように努力した。どの例文の場面でも、聞いて分かる日常会話の語彙を集めた。この辞書の特徴として、会話では使えない言葉は入ってないということである。ロシア語への翻訳もとても注意深く丁寧に行なった。これらはみな普遍的か、会話で使える言葉ばかりである。

4. 辞書の構成の特徴

日本人のために日本で出版された日露・露日辞典と違って、この辞書はロシア人の学習者が使用することを念頭に置いている。ロシア人の学習者の要求に基づいたこの辞書は次のような構成上の特徴がある。

- ① 日本語の語彙、表現、例文にはふりがなをつけた。
- ② ロシア語の動詞の格変化は扱わない。
- ③ 日本語の言葉の意味、使い方を理解してもらうために意味的に難しく、複雑な言葉には翻訳した上に簡単な説明をつけた。

外国語の初級・中級の教科書に使われる語彙の数は大体決まっている。

この辞書ではおよそ 2000 語の基本的な語彙にしぼり、それぞれの語には意味別に例文を多く載せることにした。

5. 辞書の目指したこと

小じんまりした、使うのに便利で、中級レベルまでのテキストを読むことと日常会話のために必要な単語と語彙が入っている辞書を作ろうとわたしたちは願った。先生と一緒に勉強しているロシアの日本語科、日本語コースの学習者など、それに自学自習の学生にも役に立つ。最小限の語彙リストになるので、日本語を教えている先生にとっても役に立つとだろう。専門的でないテキストの翻訳にも役に立つ。

6. 例文作成の方針

例文はこの辞書にとりあげた言葉だけで書かれているので、例文の中の分からない言葉があったら、その言葉のページを調べればすぐに意味を確かめることができる。

新しい言葉は何回書いてみても、口に出して言ってみても、覚えられないことが多い。しかし、その言葉を文の中に入れて、会話で使えば早く体得できる。

わたしたちは初歩的な会話でよく使える例文を作るように心がけた。ロシアと日本の代表的な料理の名前や、生活に欠かせない物の名前なども載せた。習った例文を会話の中で活かしたら新しい言葉も覚えやすいだろう。いろいろな場面を作ってロシア、特にシベリア地方と日本での生活習慣に関係の深い例文をたくさん入れた。

7. 日本語の語彙をロシア語に翻訳したときの問題点

ロシア語と日本語の語彙を比べたところ、わたしたちの研究の障壁と

なる問題が出てきた。

- ① 日本語の一語が持つ意味範囲をロシア語の一語に置きかえられないことである。
- ② ロシア人と日本人の言い表し方が違うことである。ある言葉はロシア語でも日本語でも一語で表せるが、ある言葉はロシア語で一語なのに、日本語では複数語となったり、また逆の場合もある。
- ③ 両語の文法的な扱いにも注意した。いくつかの場合は、ロシア語の言葉が日本語の言葉とまったく同じの意味であっても、文になると品詞の違いなどにより同じようには使えないということもある。その場合は例文の翻訳が役に立つ。
- ④ ロシア人の日本語学習者にとっては助詞が難しいので、わたしたちは日本語の助詞を詳しくとりあげた。

8. 例文を翻訳したときの問題

一つの言葉にいくつかの翻訳があるように、例文にもいくつかの翻訳をつけた。場面によって表現が違うからである。

慣用表現の翻訳にはたくさんの問題点があった。例えば、ロシア語の文を日本語に直訳しても日本語ではそう言わないことがある。それと同じで、日本語からロシア語に翻訳する時、一語一語翻訳するとロシア語の文は変なものになる。二つの文は同じ意味を伝えるものなのに、違ったものになってしまう。

例えば、日本語の“母は料理が上手です”はロシア語に翻訳すれば“Моя мать хорошо готовит”となるが、これをもう一度日本語になおすと“私の母はよく作れる”となる。同じ意味を持っても、文章構成法が違ってくる。

そのほかにロシア語に訳すことのできない日本語の慣用表現がたくさん

んある。

例えば“おかえりなさい”“ただいま”“いただきます”などであるが、こういう表現については他の言葉を補ったり、どういう場面で使うかといったことをロシア語で説明するしかない。

9. 漢字選定の方針

現代日本語を書き表す場合の漢字使用の目安として、1981年に文部省が、発表した常用漢字表の中からわたしたちは300字を選んだ。これはみんな初級レベルで勉強する漢字である。このうち245字を4級・3級レベルの日本語能力試験に出題される漢字リストから採り、残りの55字を初級レベルの日本語教科書のうちの頻度の高いものを採用した。

辞書の付録には漢字の表があって、そこでは漢字の音訓の読み方、書き順が説明してある。

この辞書でとりあげた漢字の数が少ない理由は、日本語を勉強しはじめた人にとって一番大事なことは話し言葉の語彙を増やすことであるからだ。

語彙の量は文法を理解するために大事なことである。初級レベルにおける大量の漢字の学習は語彙を増やすのに邪魔になる。ロシアのこれからの日本語の学習法は、教科書の文法をそのまま暗記するのではなくて、たくさんの易しい会話の中で覚えていくようにすべきだと思う。

10. この辞書の文法

活用語の変化についてはロシア人学習者にとって理解しやすいゴロブニン先生の考え方をちょっと変えて、一目でわかる活用表にしてみた。
(Рябкин А.Г., Лобачев Л.А., Паюсов Н.Г., Стрижак Л.А., Янушевский В.А. Учебник японского языка. 3ч. Под

ред. Головнина И.В.-М: высшая школа, 1973)

表 I 動詞の変化

Таблица спряжений японских глаголов

		変化しない部分	変化する部分					
辞書形		語幹	第1形	第2形	第3形	第4形	第5形	第6形
第Iグループ	かく (書く)	KAK	A	I	U	E	O	E
	およぐ (泳ぐ)	OYOG	A	I	U	E	O	E
	はなす (話す)	HANAS	A	I	U	E	O	E
	たつ (立つ)	TAT	A	I	U	E	O	E
	しぬ (死ぬ)	SIN	A	I	U	E	O	E
	とぶ (飛ぶ)	TOB	A	I	U	E	O	E
	よむ (読む)	YOM	A	I	U	E	O	E
	かえる (帰る)	KAER	A	I	U	E	O	E
あう (会う)	A	WA	I	U	E	O	E	
第IIグループ	おきる (起きる)	OKI	e※	e	RU	RE	YO	RO
	みる (見る)	MI	e	e	RU	RE	YO	RO
	たべる (食べる)	TABE	e	e	RU	RE	YO	RO
	でる (出る)	DE	e	e	RU	RE	YO	RO
第IIIグループ	する	S	HI E A	HI	URU	URE	HIYO	HIRO
	くる (来る)	K	O	I	URU	URE	OYO	OI

※ e→変化する部分がない

表 II 初級文型の接続

Грамматические формы

第1形	第2形	第3形	第4形	第5形
～ない	～ます	～あいだ (に)	～ば	～う (よう) と思う
～ないで	～ました	～うちに	～ばよかつた	～う (よう) とする
～ず (に)	～ません	～だけ		
～ないでください	～ませんでした	～だろう		
～なければ/なくては/ならない	～ませんか	～はず		
～なくても/なければ/ないといけません	～ましょう	～ほうがいい		
～なくてもいい	～ながら	～かもしれない		
～なくてもかまわない	～たい	～かしら/かなあ		
～なくなる	(敬語) お～になる	～けれども		
～(ら) れる	(敬語) お～する	～このは		
～(さ) せる	(敬語) お～ください	～ところだ		
～(さ) せてください	～たがる	～みたいだ		
～(さ) せられる	～なさい	～まで		
	～に (行く)	～までに		
	～そう (だ)	～まえに		
	～始める	～つもりだ		

表は省略してある

この二つの表を見れば、学習者は日本語の動詞がどのように変化して基本的な文型を形づくっているかがすぐにわかる。動詞から否定形、現在形、過去形、(不)完了形、命令形をどうすれば作れるのかも分かる。

下の例にあるように、各動詞の後にその動詞の説明が続いている。動詞のグループ I、II、III、他動詞または自動詞、それに1形から6形までと、加えてテ形も記した。

形容詞の場合も同様の方式で活用表と例文を載せた。

例

あう 【会う】

(I、自)

① あわ ② あい ③ あう ④ あえ ⑤ あお ⑥ あえ

※あって

すみません、前に どこかで 会ったことが
ありませんか。

今 いそがしいから あとで 会いましょ
う。

さいきん かれに あまり会わないです。

あした ともだちと 会うことになってい
る。

きょうのお昼ごろ お会いしたいのですが、
よろしいでしょうか。

どこで 何時に 会いましょうか。

じゃ、あした 3時に 会おう。

встречаться,
видеться с кем-л.

Извините, мы не
встречались с вами
где-то раньше?

Я сейчас занят. Давай
встретимся потом.

В последнее время я его
не вижу.

Я завтра встречаюсь с
другом.

Я бы хотел встретиться с
вами в обед. Как вы на это
смотрите?

Где и когда мы
встретимся?

Ну, давай встретимся
завтра в три часа.

辞書の付録では基本的な文型にロシア語で説明を加えた。そしてそれぞれの文型を辞書のメイン部分でとりあげて、例文をつけた。

辞書は左の欄の日本語と、右の欄のロシア語に分かれている。言葉の勉強に便利なように、こんな形になったのだ。何かでどちらかの欄を隠せば、例文の翻訳を覚えたり、同じように日本語の文法の勉強をしたり、復習もできる。こんな勉強のし方は通訳の訓練にもなる。

1 1. 辞書の付録について

付録には次のものを載せた。

- ① あいさつ語などの表現のリスト
- ② 数の数え方の表
- ③ 月・日・時刻・時間の表
- ④ 初級・中級文法項目のリスト
- ⑤ 言葉のリスト
- ⑥ この辞書に使われている漢字の表

加えて、旧ソ連邦に入っていた地方の名前、世界的に有名で会話でよく使う国、都市、首都、海、川などを集めた。

付録では、わたしたちは⑤言葉のリストを職業、服装、病気、スポーツ、調理などのテーマ別に整理してみた。これらは初級の日本語能力試験範囲と初級の教科書には出てこないが、初級会話でよく使われる言葉を集めた。メイン部分に載っていないこれらの言葉には例文はない。しかしながら、これは名詞が多いから、メインの例文の中に簡単に代入することができる。

この付録には絵も載せた。これは見たこともない物が想像できるようにしてある。例えば、“豊”“盆栽”“げた”などはロシアの文化に存在しない。だから訳さずにそのままロシア文字で書く復習になっている。しかし絵がなければロシア語で発音できても、どんな物だか分からないだろう。

というように、学生が欲しがっている情報を加えることができたと思う。

後書き

わたしたちはこの辞書が学生にとって、日本語の勉強に欠かせないも

のになってほしいと願う。ロシアの学生が初級から中級の前期にかけて学ぶ時、この一冊の辞典があれば、疑問にも答えを見つけられるだけではなく、言葉を調べているうちに、日本語の文法、日本の文化・風俗なども勉強できるものにしたと思っている。

現在学生が使っている十指を数える日露・露日辞典の内容が、時代遅れになっていることを考えると、わたしたちが作った辞書はとても必要とされるにちがいない。従来辞典にはいくつかの欠点がある。これは膨大すぎて、必要な言葉がなかなか見つからないこととか、やっと見つかっても訳語がたくさん出ていて、どれが本当に必要なものなのか戸惑ってしまうこととか。漢字を使わない国の人にとっては、ふり仮名がついていない例文を読むこともまた大変なことである。その上、多くの場合例文の数が少ない上に、例文も高度すぎるものが多くて分かりにくいことである。

ロシア人日本語学習者のための新しい辞書を作ろうとして、わたしたちはこれらの欠点をできるだけ取り除くようにした。